

鹿児島県は離島の人口と面積が全国1位の県です。今回は奄美群島の与路島を紹介します。

ゆったりとした時間の流れる南の楽園

vol. 8

Yorojima

与路島

しまじま
島々

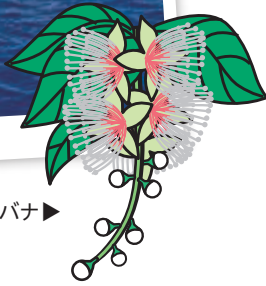
★もよう★



▲与路島

サガリバナ▶

◀珊瑚の石垣



サンゴの海に囲まれた
奄美の小さな島

奄美大島から南西へ、加計呂麻島のさらに南方に請島と並んで浮かぶ小さな島が与路島です。そこには豊かな自然と、静かな島の暮らしがあります。アダンや芭蕉の群生地をはじめ、亜熱帯の植物が島を覆っています。透明度の高い海とも相まって、島のあちこちで自然の魅力あふれるすばらしい風景に出会えます。美しい海は釣りやダイビングの名所として

も知られています。

また、東の沖にはハミヤ島という無人島があり、白砂の砂丘が山まで吹き上がった、ダイナミックな風景が広がっています。この島で子どもたちに自立心

や豊かな感性を身につけてほしいと、平成27年4月から「海の子留学」がスタート。3人の留学生が、共同の居住施設となっている「与路グリーンハウス」で里親と一緒に生活しながら、与路小・中学校へ通学しています。

そこは奄美の原風景
サンゴの石垣が続く道

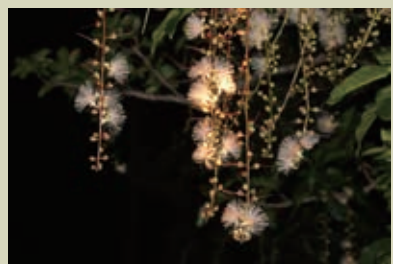
昔ながらのサンゴの石垣が続く集落の風景も、この島の魅力です。海から切り出したサンゴを積んだ石垣は、隙間が多くて風通しが良いため、夏に涼を運んでくれるのが特徴です。耐久性にも優れ、古いものが多く現存しています。

この景観は国土交通省の「島の宝100景」に「涼を呼ぶサンゴの石垣」として選定されています。



▲ハミヤ島

島々メモ 夏の夜に花開く サガリバナの並木道



与路集落の一角には約100m続くサガリバナの並木道があります。サガリバナとは奄美大島を北限とする熱帯性の植物で、甘い香りを放つ白い花を房状につけてフジのように垂れ下がって咲きます。夕方には咲き誇り、夕方にはすべて散ってしまいます。闇夜の中で咲き誇る様子は幻想的。散った後、花を敷き詰めたような並木道の光景も見物です。見頃は7月～8月頃。

- 【位置】 北緯28度2分39秒/東経129度9分50秒
- 【面積】 9.35km² 【周囲】 18.4km
- 【人口】 88人 (平成27年5月末現在)
- 【地形】 南北に200m～300mの山が連なる。山林が海岸線まで迫り、風や波に削られた断崖も多い。
- 【主な産業】 農業・畜産
- 【アクセス】 古仁屋港から請島・与路島を結ぶ町営定期船「せとなみ」が1日に1往復程度運行。古仁屋港～与路港まで(請島経由)の所要時間は約1時間40分。

問い合わせ先: 瀬戸内町役場 ☎0997(72)1111



沖永良部島

与論島